

ということでも地権者に12月を目標に話しています。

まちづくりと関連を

問 取得後の利用について、中心市街地等、まちづくりなどにかかわる考えはあるか。

市長 目下のところ、中心市街地活性化などかかわりはありませんが、中央通りに面している部分もありますので、必要な場合は活用できるように教育委員会と話をしたい。

教育長 教育委員会としては、地域に開かれた学校づくりを目指しますので学校、家庭、地域が連携することによって健全な児童・生徒の育成に努めています。従って、学習園についても地域連携等を通し、学校と地域の交流が深まるものと考えています。

問 まちの中に要望が多いトイレや休憩場所は、高齢者がまちに出るために欲しいと思う。考えているか。

市長 中央通りの利活用が煮詰まってきた段階で適当な活用方法があれば、対応していくよう考えます。

選挙の投票率



加藤 政勝

問 岩沼市での選挙投票率が低調なのはなぜか。

選管局長 いずれの選挙も投票率が低調なのは事実です。特に市民に最も身近な選挙の市長選や市議選が50%台になっています。選挙管理委員会としても投票率の問題について鋭意検討していますが、その解決策は発見出来かねています。

どう啓発活動したか

問 衆・参議員や知事の選挙でも仙南最下位の投票率だが、啓発活動はどのようなしているか。

選管局長 一般的ですが広報紙、広報車、公用車、FM放送の利用や市役所庁舎に横断幕を張るなどしています。成人式や二十歳を迎える一人ひとりに誕生祝いのはがきを送り投票を呼び掛けています。特に若年層に対しては呼び掛け活動を

実施しています。

問 今後の対策はどのようなのか、例えば21ある投票所の投票率などを公表して棄権防止に役立ててはどうか。

選管局長 今まで以上に地道にタイミングや場所を考慮し効果的に進めていくべきだと思います。ご提案のあった各投票所の投票率などを一覽表の形にして市民の皆さまにお知らせするのでも、今後の結果につながる可能性があると思います。

新火葬場建設



高橋 孝内

問 火葬場は、昭和37年に建設され築48年が経過しかなり老朽化が進んでいる。新火葬場の建設を急ぐべきと考えるが、市民からは、どのような建て替えの要望が出ているか。

市長 火葬場の役割として個人の尊厳を重視する環境でなければならぬが、特に人生の終えんの場という



市営火葬場

ものになさわしい火葬場をつくるべきだとの声を頂いています。

市民経済部長 そのほかに、現火葬場は非常に施設自体が老朽化している、待合室は非常に狭くて利用しづらい、施設全体のイメージから最後のお別れの場としてふさわしいかどうかなどの要望を頂いています。

どのように進めるか

問 新火葬場建設は、今後どのようなスケジュールで進めるのか。

市長 新総合計画では、平成24年度から基本計画を策定することになっています

た。しかし、この計画を前倒し整備するというところで、新火葬場建設検討委員会を設置し、建設予定地については今年度内を目標に選定できればと考えています。その後、基本設計、実施計画、パブリックコメント等の必要な事務的手続きを行い、できるだけ早い時期に着手するよう努力していきたいと思っています。

中小企業振興基本条例の制定



布田 一民

問 新総合計画を進めるためには、各分野での基本条例が必要である。そのためにも、中小企業振興基本条例を単独でも制定するべきでないか伺う。

市長 中小企業振興基本条例を設けた方が、よりよい行政対応ができるのではないかと思います。せっかくの提案ですので、十分検討していきたいと考えています。



用語解説

パブリックコメント=意見公募手続き。広く公に、意見、情報、改善案などを求める手続きのこと。